

令和2年 第2回 議会定例会

一 般 質 問

1. 3番 軍司 俊紀

2. 7番 増田 葉子

印西地区環境整備事業組合議会

議席3番 軍司 俊紀 議員

【質問1】新型コロナウイルス感染症と廃棄物処理について

廃棄物処理は市民生活において必要不可欠な事業であり、感染が拡大する状況にあっても、適正かつ円滑な処理が継続的に行われる必要がある。

- (1) 5月1日付けで環境省から「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行及び新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物の円滑な処理等について（通知）」が出されているが、組合では2市1町と打合せはされているのか。
- (2) 感染が拡大する状況下を想定してのBCP（事業継続計画）は組合で策定されているのか。

【質問2】ペットボトルや廃プラスチック処理について

中国などの外国政府による廃プラスチックの輸入規制は、国内の廃棄物業界や資源業界を揺るがし、製品プラスチックなどのリサイクルに取り組んできた自治体にも影響を及ぼしている。

昨年5月には環境省が第4次循環型社会推進基本計画に基づくプラスチック資源循環戦略を策定し、「廃プラスチック類に係る処理の円滑化等」についてという通知が出され、組合でも議論がされていると思うが、以下について確認をする。

- (1) 印西市内の複数の自治会では「資源物回収」として、ペットボトルの回収を行っていたが、今秋からペットボトルの回収は行わない旨の通知が出されている。組合ではこの状況を把握しているか。
- (2) 資源物としてのプラスチックリサイクルは継続処理可能か。
- (3) 産業廃棄物に該当する廃プラスチック類の処理について事業者から相談はあったか。

【質問3】次期中間処理施設の整備に関して

施設整備基本設計において設計図書の技術提案はどこまでされているのか。

- (1) 要求水準書の策定は誰が行うのか
- (2) メーカー提案の評価は誰が行うのか

【質問4】災害廃棄物処理について

2市1町ではそれぞれに「災害廃棄物処理計画」を策定し、災害時には処理業務を行っていくと考えているが、組合の役割はどのようなものか。

議席7番 増田 葉子 議員

【質問1】資源化の仕組みづくりについて

令和元年度の実績によると、収集ごみ量は資源物も含め増加傾向となっている。ごみ量は、景気や流入・定住人口などを反映するものと言われるが、排出されるごみ・資源物の内容をよく精査し、どのような取り組みが効果的か考えていく必要がある。「ごみをなるべく出さない」一人一人の取り組みが大切であることは大前提として、どのような仕組みづくりができるだろうか。

- (1) 令和元年度の実績からどのような傾向が分析されたか。
- (2) ごみの組成分析からどのような傾向が読み取れたか。
- (3) ごみ処理基本計画で掲げられた重点施策はどのように取り組まれたか。
- (4) 収集体制の一元化から10年以上経過するが、ごみ減量化への取り組みは一元体制でどのように進められてきたか。

【質問2】地域振興事業の進捗について

次期中間処理施設整備事業スケジュールによると、地域振興事業は詳細なスケジュールが未確定と受け取れる。昨年度、地域振興基本計画の第一回変更計画が示されたが、その後、どのように進行しているのか。

- (1) 令和8年の施設工事着手までどのような段取りとなるのか、今後のスケジュールを示していただきたい。
- (2) 各施設の事業内容などについて、印西市との連携体制はどのようになっているか。